

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 徳をもって中国やインドに進出する 稲盛 和夫 (京セラ名誉会長)

1. 少子高齢化という人口動態を考えれば、日本のGDP成長は頭打ち。いずれ中国に抜かれます。しかし、高付価値のモノづくりを進めていけば、一人当たりのGDPは高く維持できる。量の拡大は無理でも、質は高まる。より豊かな社会になっていくはずです。
2. バブル崩壊後、多くの日本企業は、効率化や刺激策として、成果主義導入など人事評価制度を改変しましたが、弊害が多く、再検討をする企業が多いと聞きます。成果主義は、金銭欲を刺激して人を動かそうとする卑しい施策で、私は「導入すべきでない」と主張してきました。なぜなら、日本企業の最大の強みはチームワークのよさにあり、成果主義はそれを劣化させてしまう要因になるからです。成果主義は、日本人の特性を考えない欧米流のモノマネで、余裕のない企業が拙速に導入してしまった面があるように思います。今後、見直しが進むのではないのでしょうか。
3. 欧米流のM&Aは、進駐軍のように企業に乗り込んで、大リストラを敢行して短期間での収益向上を狙うでしょう。欧米人は19世紀の植民地時代から、そういう覇権を握る手法を磨いていましたが、日本人が一朝一夕にマネできるものではない。その代わりに、「徳」をもって相手との信頼関係を深め、モチベーションを高めてもらう方法なら自然にできる。これは、中国やインドなどアジアの地域に進出していくうえでも通用する手法です。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2008年1月1日・5日号)

## 経営者のための理念・哲学

### 後藤新平の精神性「自治三訣」

#### 李登輝 (台湾元総統)

1. 昨年、私は「後藤新平賞」(後藤新平の会主催)の第1回受賞者に選ばれました。後藤は、100年先を見通して大きなスケールで政策を構想し、数々の業績を残した政治家です。後藤は「人の世話にならぬよう。人のお世話をするよう。そして報いを求めぬよう」という「自治三訣」を提唱していますが、その人間像は他の日本の政治家には見られない独自の精神性を持っています。
2. これは普通の論理ではない形而上学的な信仰があるのです。後藤の信仰は、言動からは強い信仰を持っていることがうかがえます。信仰のセンス(判断、感覚)は理屈ではなく、情動、情緒です。私はクリスチャンです。後藤に私が強い精神的なつながりを感じるのは、そうした強い信仰を持っているからです。

(参考:「週刊東洋経済」:2007年12月8日号)

## ワンポイント経営アドバイス

### 経営は理を詰めること

#### 並木 忠男 (元旭硝子副社長)

1. バブル崩壊で、建設、自動車、電機といった旭硝子の主要取引先の需要が一時的でしたが、ぼったりと落ちた。こんなことは、過去に経験したことがない。まさに不連続な時代に入ったのです。そんな時代には、不確かな将来への期待を当てにしても、いずれ立ち行かなくなる、と確信したのです。この時に留意したのが、負の遺産の処理と同時に、新たな成長の道筋を提示することでした。負の処理だけでは社員が疲弊するだけです。
2. これまでの経験から私が得たことは、「経営とは、理を突き詰めること」です。経営には、欠かせない法則があります。それはごくシンプルなもので、例えば「増収を維持する」「財務の健全性を保つ」「法令は順守する」といったものです。これらの法に抗って成功することはあり得ないのです。

(参考:「日経ビジネス」2007年12月3日号)

## 古典に学ぶ

### 驕、争は身を亡ぼす

「利を人に譲りて、害を己れに受くるは、是れ譲なり。美を人に推し、醜を己れに取るは是れ謙なり。謙の反を驕となし、譲の反を争いとなす。驕争は是れ身を亡ぼすの始めなり。」

(訳) 利を他に譲って害を自分で引き受けるのが譲。良い事を人に、悪い事を自分でとるのが謙である。謙の反対で、良いほうを自分がとり、悪いほうを人に押し付けるのを驕といい、譲の反対で利を自分がとり害も人に与えるのが争である。この驕と争はわが身を亡ぼす始めになる。

(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP文庫)